

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当するエリアは、相模鉄道線の線路沿いとなる地域で、駅に近いエリアでは比較的集合住宅も多く、15～65歳の生産年齢人口比率も高い。一方、線路から離れるにつれ、持ち家率・高齢化率共に高くなる傾向にあり、特に東野台や相沢6丁目等のエリア北部では、買い物や移動手段など高齢者の生活にとって障壁となるものも多い。

反面、地域活動が活発なエリアでもあり、多くの生活支援ボランティア団体等が日々活動しています。こうした地域活動を住民全体が共有し、その思いに応じた形で活動へ参加ができる地域を目指し、活動団体間の連携推進や地域活動の利用促進を進めます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	多人数を集めた講座等での周知が困難な中、小規模の集団へ向けた出張講座を積極的に行い、地域活動の存在を知る機会を生み出します。高齢者や子どもといった分野に左右されず、複合的に活動できる場を検討します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケアプラザを事務局とした、書面での情報交換会を実施します。またその結果をもとに、必要に応じて自発的な連絡会等が開催できるよう支援する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	興味・関心チェックシートを活用し、地域住民の興味・関心の高い地域活動の展開を企画する。また、参加できる活動を念頭に置いたツールの作成を検討します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護サービス事業所職員を含むケアマネジャーとインフォーマル活動団体の交流会を開催します。相互の活動・業務・ケアマネジメントに対する認識の共有を図り、連携を深めます。 また、生活支援ボランティアの会議に参加し、現状の課題共有を行うとともに、必要に応じてケアマネジャーとの情報交換(カンファレンス)の場を設定します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎月の5職種会議において、地域活動への訪問を計画・共有することで、情報の把握に努めます。また、介護予防の活動として、年度中新たに1箇所の元気づくりステーション創出を目指します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けながらも、コロナ禍で途切れていた繋がりや再構築や、新たな活動のきっかけ作りを中心とした取り組みを展開した。令和2年度はコロナ禍で地域サロンやシニアクラブと、顔を合わせての繋がりが途切れていたが、今年度は地域サロン4か所およびシニアクラブ3か所で行前講座を行い、地域で行われる活動の周知やコロナ禍で変化する地域の情報収集を行った。次年度はこうした繋がりを継続しつつ、今年度使用に課題も見えた興味・関心チェックシートを活用し、地域のトレンドに合わせた情報提供等に努めていく。また、地域における集いの場として、試験的に高齢者と子どもが共に楽しめる講座を実施したが、コロナ禍の影響を受け大きく展開することが出来なかった。しかしながら、この開催によって新たな関係構築や地域住民との課題共有ができたため、次年度以降集いの場として機能できるよう、次の開催を進めていく。

区からのコメント

コロナで状況が常に変化している中で、「できること」を着実にやり、地域のつながりや活動の支援ができています。地域のニーズを捉え、適切なタイミングで情報提供できる体制をつくっており、「興味・関心チェックシート」の見直しなどにより、より一層地域の状況に合った支援をお願いします。試験的に実施した地域における集いの場も、コロナ禍のなかでも継続した活動になるよう、地域とともに作り上げていくことを期待しています。また、地域サロンやシニアクラブでの出前講座など、地域活動への支援を引き続きお願いするとともに、収集した地域の情報も活かして、地域交流や介護予防の充実につなげてほしいと思います。

引き続き、地域包括ケアシステム構築の中核的な機関として、また誰もが気軽に頼れる福祉保健の拠点として、関係機関や地域の関係者等と連携を図り、地域の特色を活かしながら取組を進めていただくようお願いいたします。

令和3年度ニツ橋第二地域ケアプラザ事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	関係行政機関、地域の福祉保健関係者・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように調整し、常に利用者の選択を重視した対応を行います。	定期的な個人情報保護及びコンプライアンス研修を実施し、施設内でのコンプライアンスに対する意識を高めます。事故防止に関しては、法人運営施設における事故発生事例を共有するとともに、施設内で発生したヒヤリハットを蓄積することで、事故の未然防止に活用します。個人情報保護に関しては、取扱業務概要説明書の整備により、収集する個人情報を明確にするとともに、対象となる書類の送付等の際は、二重の確認を徹底します。
実績	関係機関と定期的な会議を実施し、公正・中立な観点から検討を進めました。介護保険分野では、サービス事業所の現状を把握し、当事者が選択できるような提案に心掛けました。	コンプライアンス、個人情報保護研修は全職員が受講し、個人情報保護誓約書に署名しています。コンプライアンスは、本会独自の「コンプライアンス推進ハンドブック」を用い、自己チェックを定期的実施し意識を高めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護保険法の関係法令に従い、当該担当地域内に居住する利用者に対し、可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活が営めるよう支援します。	介護保険法の目的に添い、利用者が可能な限り居宅で自立した生活が営めるよう支援をし、利用者とその家族の身体的、精神的負担が軽減できるようケアプランを作成します。
利用料金・実費負担	利用者の負担金はありません。 介護保険料滞納等の場合、介護報酬10割負担のため以下の利用料金になります。 ＜基本額＞ 要支援1:4,792円 要支援2:4,792円 介護予防ケアマネジメント費(C・初回):4,792円 ＜加算額＞ 初回加算:3,336円(初回月のみ) 介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算:3,336円	利用者の負担金はありません。 担当者が、サービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。 ＜基本額＞ ・要介護1・要介護2:11,965円 ・要介護3・要介護4・要介護5:15,545円 ＜加算額＞ ・居宅支援初回加算:3,336円(初回月のみ) ・特定事業所加算Ⅲ:3,336円 ・入院時情報連携加算Ⅰ加算:2,224円 ・入院時情報連携加算Ⅱ加算:1,112円 ・退院・退所加算(カンファレンス参加無): 5,004円(連携1回)、6,672円(連携2回) ・退院・退所加算(カンファレンス参加有): 6,672円(連携1回)、8,340円(連携2回)、 10,008円(連携3回) ・通院時情報連携加算:556円 ・緊急時等カンファレンス加算:2,224円 ・ターミナルマネジメント加算:4,448円
職員体制	○管理者1名(常勤兼務) ○主任介護支援専門員1名(常勤兼務) ○保健師1名(常勤兼務) ○社会福祉士2名(常勤兼務1名、非常勤専従1名) ○介護支援専門員1名(非常勤専従)	○管理者 1名(常勤兼務) ○介護支援専門員 7名(常勤兼務2名、 常勤専従1名、非常勤専従3名 非常勤兼務1名)
契約者数	210	121

令和3年度「横浜市ニッ橋第二地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,235,000	0	21,235,000	21,235,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	21,235,000	0	21,235,000	21,235,000	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,291,000	0	12,291,000	9,328,632	2,962,368	
本俸	9,348,000	0	9,348,000	7,745,764	1,602,236	
社会保険料	672,000	0	672,000	525,818	146,182	
手当計	1,214,000	0	1,214,000	1,028,502	185,498	
健康診断費	11,000	0	11,000	11,019	△ 19	
勤労者福祉共済掛金	6,000	0	6,000	7,125	△ 1,125	
退職給付引当金繰入額	1,040,000	0	1,040,000	0	1,040,000	
その他	0	0	0	10,404	△ 10,404	
事務費	1,924,000	0	1,924,000	1,351,998	572,002	
旅費	15,000	0	15,000	4,740	10,260	
消耗品費	712,000	0	712,000	493,039	218,961	
会議随時費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	42,000	0	42,000	10,211	31,789	
通信費	326,000	0	326,000	396,421	△ 70,421	
使用料及び賃借料	49,000	0	49,000	0	49,000	
自販機目的の外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	49,000	0	49,000	0	49,000	
備品購入費	200,000	0	200,000	0	200,000	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	15,000	0	15,000	7,584	7,416	
職員等研修費	10,000	0	10,000	734	9,266	
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	320,000	0	320,000	81,548	238,452	
手数料	5,000	0	5,000	3,405	1,595	
地域協力費	15,000	0	15,000	1,500	13,500	
その他	215,000	0	215,000	352,816	△ 137,816	
事業費	506,000	0	506,000	106,123	399,877	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	464,000	0	464,000	106,123	357,877	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	5,016,000	0	5,016,000	3,240,409	1,775,591	
光熱水費	1,133,000	0	1,133,000	1,072,701	60,299	
清掃費	3,883,000	0	3,883,000	1,123,411	2,759,589	
機械警備費	0	0	0	164,663	△ 164,663	
設備保全費	0	0	0	727,218	△ 727,218	
空調衛生設備保守	0	0	0	109,776	△ 109,776	
消防設備保守	0	0	0	185,732	△ 185,732	
電気設備保守	0	0	0	68,195	△ 68,195	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	49,898	△ 49,898	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	313,617	△ 313,617	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	152,416	△ 152,416	
修繕費	474,000	0	474,000	383,326	90,674	予算：指定額
公租公課	1,024,000	0	1,024,000	0	1,024,000	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	1,024,000	0	1,024,000	0	1,024,000	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	21,235,000	0	21,235,000	14,410,488	6,824,512	
差引	0	0	0	6,824,512	△ 6,824,512	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	464,000	0	464,000	106,123	357,877	
自主事業 収支	△ 464,000	0	△ 464,000	△ 106,123	△ 357,877	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市ニッ橋第二地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,799,625	0	29,799,625	25,371,000	4,428,625	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	△ 4,428,625	0	△ 4,428,625	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	△ 4,428,625	0	△ 4,428,625	0	△ 4,428,625	
収入合計	31,327,000	0	31,327,000	31,327,000	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,146,000	0	28,146,000	18,323,825	9,822,175	
本俸	15,725,000	0	15,725,000	10,703,850	5,021,150	
社会保険料	3,832,000	0	3,832,000	1,895,761	1,936,239	
手当計	7,469,000	0	7,469,000	5,229,922	2,239,078	
健康診断費	27,000	0	27,000	23,358	3,642	
勤労者福祉共済掛金	24,000	0	24,000	22,375	1,625	
退職給付引当金繰入額	1,069,000	0	1,069,000	446,600	622,400	
その他	0	0	0	1,959	△ 1,959	
事務費	824,000	0	824,000	586,341	237,659	
旅費	35,000	0	35,000	7,984	27,016	
消耗品費	137,000	0	137,000	11,744	125,256	
会議随費	8,000	0	8,000	0	8,000	
印刷製本費	12,000	0	12,000	2,714	9,286	
通信費	108,000	0	108,000	101,658	6,342	
使用料及び賃借料	14,000	0	14,000	0	14,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	14,000	0	14,000	0	14,000	
備品購入費	50,000	0	50,000	0	50,000	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	34,000	0	34,000	2,016	31,984	
職員等研修費	35,000	0	35,000	13,032	21,968	
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	346,000	0	346,000	21,676	324,324	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	45,000	0	45,000	425,517	△ 380,517	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	661,529	528,471	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000	0	100,000	12,000	88,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000	0	151,000	138,960	12,040	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000	0	309,000	6,569	302,431	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	1,041,000	0	1,041,000	859,330	181,670	
光熱水費	294,000	0	294,000	285,148	8,852	
清掃費	747,000	0	747,000	298,627	448,373	
機械警備費	0	0	0	43,771	△ 43,771	
設備保全費	0	0	0	193,305	△ 193,305	
空調衛生設備保守	0	0	0	29,180	△ 29,180	
消防設備保守	0	0	0	49,371	△ 49,371	
電気設備保守	0	0	0	18,126	△ 18,126	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	13,264	△ 13,264	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	83,364	△ 83,364	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	38,479	△ 38,479	
修繕費	126,000	0	126,000	101,893	24,107	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	31,327,000	0	31,327,000	20,532,918	10,794,082	
差引	0	0	0	10,794,082	△ 10,794,082	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	157,529	402,471	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 157,529	△ 402,471	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市ニツ橋第二地域ケアプラザ

令和3年4月1日~令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,790	6,180	-390	15,567	14,751	816
	その他	5,790	6,582	-792	1,267	970	297
	介護予防ケアマネジメント費	5,790	6,582	-792	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	1,267	970	297
	その他	0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	11,580	12,762	-1,182	16,834	15,721	1,113
支出	人件費	2,335	3,318	-983	15,457	13,179	2,278
	事務費	0	6	-6	43	76	-33
	事業費	99	79	20	1,035	945	90
	管理費	0	0	0	0	0	0
	その他	7,559	8,526	-967	0	0	0
	介護予防プラン委託料	7,559	8,526	-967	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)	9,993	11,929	-1,936	16,535	14,200	2,335	
収支 (A)-(B)		1,587	833	754	299	1,521	-1,222

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることを			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)		ねらいとした事業			7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	せやまる・ふれあい祭り	平成23年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	せやまる・ふれあい館6館共催のお祭り。ケアプラザでは、地区内で活動されているボランティアや貸館登録団体の交流・発表の場を目的とする。	5: 地域		イベントとしての開催は中止となったが、『離れていても ふれあいまつり』として絵手紙の募集と館内での掲示を行った。	1	143
2	貸館登録利用団体交流会	平成23年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	貸館利用登録団体を対象に、団体同士の交流やケアプラザからの伝達事項を行う場とする。	5: 地域		団体同士が交流し、他の活動に関心が持てる内容とする。コロナ禍のため、2月に書面で開催	1	119団体
3	広報紙「ふれあい通信」の発行	平成23年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザの事業や価値活動の取組情報などを地域に向けて発信する。より多くの方が目にすることができるよう、掲示・配架の範囲やの拡大やHP等の活用をしていく。	5: 地域		地域の活動者やケアプラザからのお知らせ、せやまる川柳の募集などを掲載。	6	9000
4	みーとすまいる	平成24年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	三ツ境養護学校に通う重度心身障害児を対象とした余暇支援プログラム。親・子・ボランティアが交互にふれあい支え合うコミュニティづくりと、障害支援ボランティア育成を目的とする。	2: 障害児・者	2,3,5	「ZOOMをつなげてみよう」～情報ツールを使って地域とつながる～ ZOOMオンラインレクと、オンラインコンサートを開催。ボランティア団体「MIKS」「アンサンブル・ミル・プランタン」の協力を実施。	1	3
5	親子でぎゅーっとスキンシップ	平成24年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	保育園・地域子育て支援拠点との共催事業。親子遊びの講座を通じ、地域の親子が保育園などの子育て支援施設を気軽に利用・相談できる施設となることを図る。	3: 養育者及び乳幼児		保育士が講師となって、親子のふれあい遊びを行う。	1	5
6	せやまるギャラリー	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	せやまる・ふれあい館1階廊下沿いの壁面を、作品展示スペース地域の皆様にご利用いただき、創作意欲の増進と同じ趣味を持つ仲間作りのきっかけとする。	5: 地域		通年、個人や団体等での展示を希望を募る(写真、活動報告、川柳)	4	4団体
7	介護者のつどい「ふれあい」	平成27年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	元気に介護が続けられるよう、介護者どうしをつなぐ交流の場を提供する(認知症支援事業)	1: 高齢者	5	令和4年3月実施。認知症サポーター養成講座と認知症当事者の介護家族の体験を聞く会を合わせて、地域の高齢者サロン向けに行った。	1	21
8	権利擁護事業「元気なうちから老いじたく」	平成28年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	権利擁護講座により、これからの人生をその人らしく生きるためのきっかけづくりや終活を考えるためのヒントとなる講座をおこなう。	1: 高齢者	5	令和4年2月に2回連続講座として実施。全体としては終活を目的とした講座とし、エンディングノートおよび相続と遺言について学ぶ内容とした。瀬谷八福札や日常生活自立支援事業の説明も合わせて行った。	2	45
9	GOGO健康講座(相沢地区)	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が介護予防の知識とその方法を学び、心身の健康を維持し、意欲的な生活が送れるよう栄養講座・ロコモ、口腔講座を実施(介護予防普及啓発事業)	1: 高齢者		栄養講座・ロコモ/口腔講座 連続講座(相沢公会堂にて2回連続講座)	2	15
10	GOGO健康講座(瀬谷第四地区)	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が介護予防の知識とその方法を学び、心身の健康を維持し、意欲的な生活が送れるよう栄養講座・ロコモ、口腔講座を実施(介護予防普及啓発事業)	1: 高齢者		栄養講座・ロコモ/口腔講座 連続講座(ニッ橋第二地域ケアプラザ及び相沢原団地集会所にてそれぞれ2回連続講座 計4回実施)	4	35
11	ボランティアスキルアップ講座	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させるねらい	感染対策と両立した新たな地域活動のヒントを学ぶ講座を実施し、地域のボランティアのスキルアップに寄与する(地域介護予防活動支援事業)	1: 高齢者	5	R3年11月実施。地域の住民活動の研究をしている専門家呼び、座学とグループワークにより、コロナ禍の中で地域活動について考える講座とした。	1	20
12	地域サロン情報交流会	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	サロンを開催する団体が、同種の活動によりつながり、情報交換や悩みの共有を行いながら発展することを目的とします。	5: 地域		アンケート形式により開催。サロン団体の現状や課題、強みなどの共有を行った。	1	9
13	認知症サポーター養成講座	令和3年度	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	認知症を正しく理解し、認知症になっても暖かく見守る応援者を地域に増やすための後方支援としての事業。	1: 高齢者		R4年3月実施。地域の高齢者サロンの参加者を対象とし、キャラバンメイトに講師を依頼し、認知症についての理解啓発を行った。【※項目1の介護者のつどい内で実施】	1	21
14	体力測定会	令和3年度	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	日頃の自身の体力測定するきっかけ作り、介護予防普及啓発の目的にて実施。(介護予防普及啓発事業)	1: 高齢者	5	R4年1月実施。楽老ハイソ(市営住宅)の中で地域住民の高齢者サロンにおいて、柔軟性やバランス力、俊敏性などを測定し、合わせてロコモ予防に結び付く体操指導を行った。	1	15
15	ボランティアとケアマネジャーの交流会	令和3年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	ケアマネジャーが地域にあるインフォーマルサービスを理解し利用者の生活の中に積極的に取り入れられる様にするための支援を行う。	6: 事業者	6	R3年7月実施。ケアマネジャーの仕事内容やインフォーマルサービスの活動内容についての理解を深め適切な活用のための支援を行った。	1	20
16	個別レベル地域ケア会議		7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症の家族が疲弊することなく介護を続けていくため、支援者として、地域として何ができるのかを考える。	5: 地域	1,5,6	R4年1月実施。認知症の家族を介護している当事者の思いを聞きどのような支援をすれば自宅での介護を続けていくことができるのかを考えた。	1	12